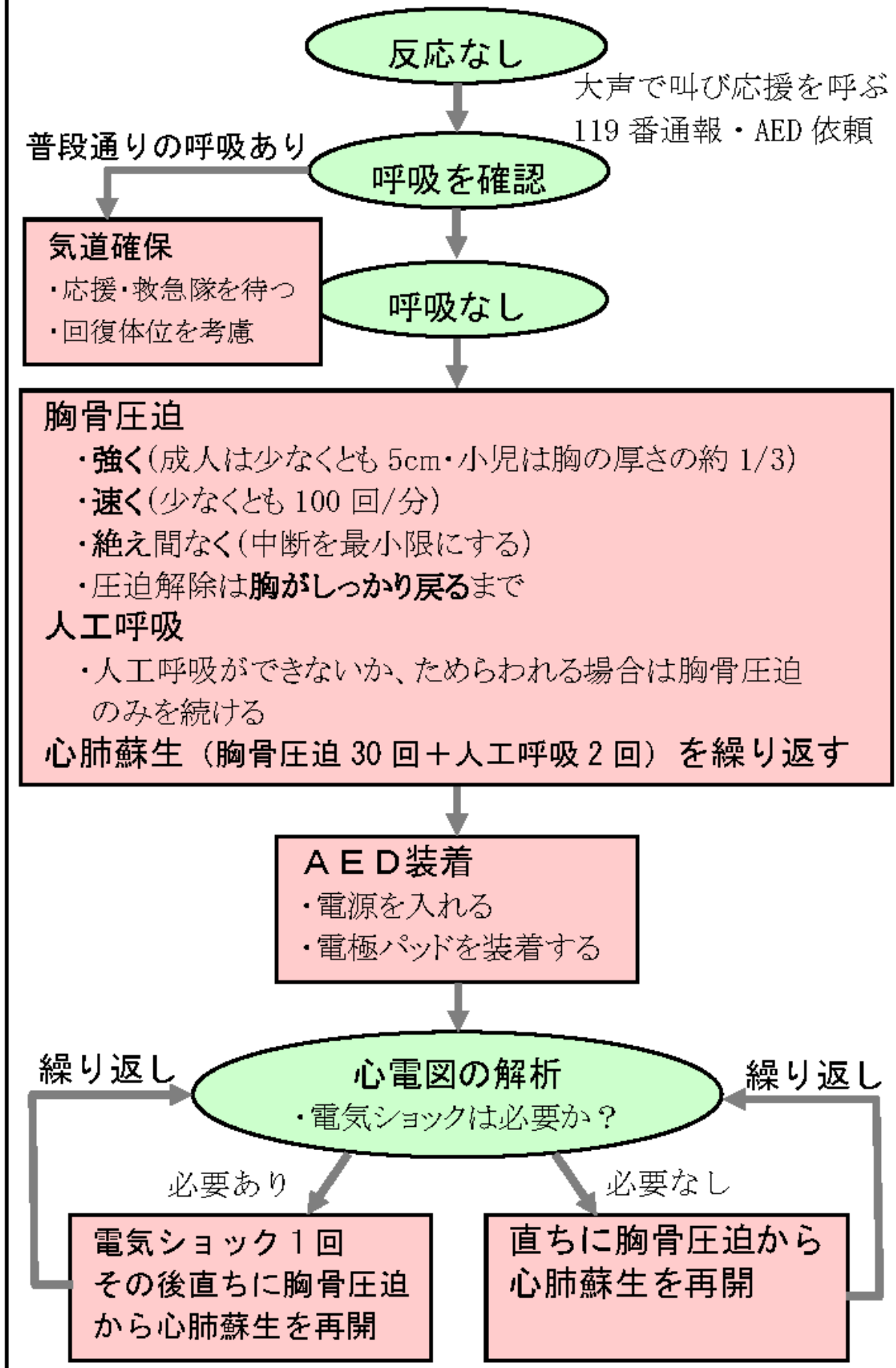


# 成人・小児(1歳以上)の救命処置の流れ

## 救命処置の流れ(心肺蘇生法とAEDの使用)



以上の流れを、救急隊に引き継ぐか、傷病者がうめき声を出したり、息をし始めるまで絶え間なく続ける。

# 救命処置の手順

## 1 反応を確認する

- 耳もとで「大丈夫ですか?」または「わかりますか?」と呼びかけながら、肩を軽くたたき、反応があるかないかを見る。
- 呼びかけに対し目を開けるか、何らかの返答または目的のある動きがなければ「反応なし」と判断する。

## 2 助けを呼ぶ

- 反応がなければ、大きな声で「誰か来て! 人が倒れています!」と助けを求める。
- 協力者が来たら、「あなたは119番へ通報してください」「あなたはAEDを持ってきてください」と要請する。

## 3 呼吸の確認

正常な呼吸(普段どおりの息)をしているかどうかを10秒以内に確認する。

- 傷病者の胸や腹の上がり下がりを見て、普段どおりの呼吸をしているかどうか判断する。
- 以下の場合は「呼吸なし」と判断する。
  1. 胸や腹の動きがない場合
  2. しゃくり上げるような途切れ途切れの呼吸
  3. よくわからない場合

## 4 胸骨圧迫 (心臓マッサージ)

呼吸がなければ、ただちに胸骨圧迫を開始する。

- 両手を重ねて胸の真ん中を「強く速く絶え間なく」垂直に圧迫する。
- 肘をまっすぐに伸ばして手の付け根の部分に体重をかけ、少なくとも胸が5cm沈むほど強く圧迫する。
- 少なくとも1分間に100回の速いテンポで30回連続して圧迫する。
- 圧迫と圧迫の間は、胸がしっかり戻るまで十分に圧迫を解除する。

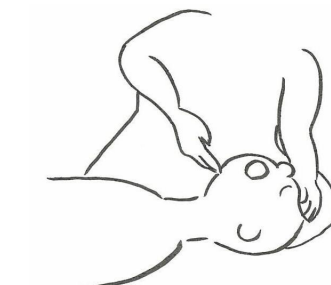
## 5 人工呼吸 (口対口人工呼吸)

30回の胸骨圧迫終了後、気道を確保し、口対口人工呼吸により息を吹き込む。

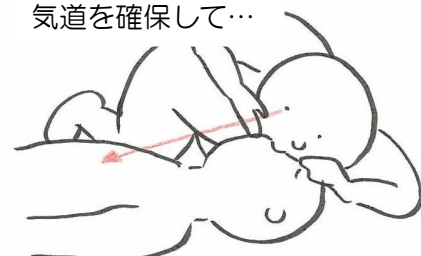
- 気道を確保し、額に当てた手の親指と人差し指で鼻をつまむ。
- 口を大きくあけて傷病者の口を覆い、空気が漏れないようにして、息を約1秒かけて吹き込み、胸が持ち上がるのを確認する。
- いったん口を離し、同じ要領でもう1回吹き込む。
- 2回の吹き込みでいずれも胸が上がるのが望ましいが、もしも胸が上がらない場合でも、吹き込みは2回までとし、胸骨圧迫に進む。
- 人工呼吸がためらわれる場合は省略し、すぐに胸骨圧迫に進む。



5cm以上、30回!



気道を確保して...



胸が軽く上がる程度に息を吹き込む

## 6 心肺蘇生法（胸骨圧迫と人工呼吸を継続）

- 胸骨圧迫30回と人工呼吸2回の組み合わせ（30:2のサイクル）を、救急隊に引き継ぐか、傷病者がうめき声を出したり、息をし始めるまで絶え間なく続ける。



胸骨圧迫！  
角度は垂直に30回！

人工呼吸を2回！

## 7 AEDの到着と準備

- AEDを傷病者の頭の横に置く。
- ふたを開け、電源ボタンを押す。ふたを開けると自動的に電源が入る機種もある。
- 電源を入れたら、以降は音声メッセージとランプに従って操作する。
- 衣服を取り除き、胸をはだける。
- 電極パッドの袋を開封し、電極パッドをシールからはがし、粘着面を胸部と脇腹部にしっかり貼り付ける。  
(貼る場所はパッドに記載)  
小児用パッドが備わっている場合があるが、成人には小児用パッドを使用しない。

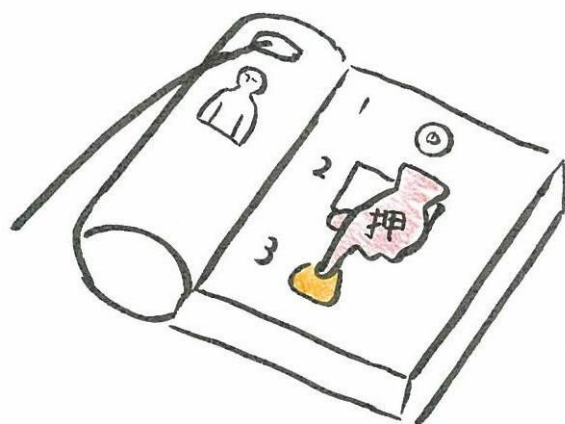


## 8 心電図の解析

- 電極パッドを貼ると「体に触れないでください」などと音声メッセージが流れ、自動的に心電図の解析が始まる。このとき、「みんな離れて!」と注意を促し、誰も傷病者に触れていないことを確認する。

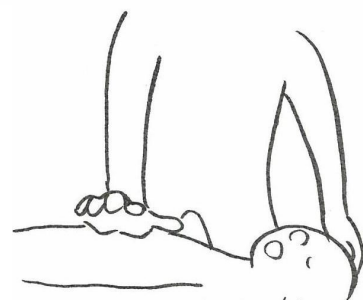
## 9 電気ショック

- AEDが電気ショックを加える必要があると判断すると「ショックが必要です」などの音声メッセージが流れ、自動的に充電が始まる。充電には数秒かかる。
- 充電が完了すると、「ショックボタンを押してください」などの音声メッセージが流れ、ショックボタンが点灯し、充電完了の連続音が出る。
- 充電が完了したら、「ショックします。みんな離れて!」と注意を促し、誰も傷病者に触れていないことを確認し、ショックボタンを押す。



## 10 心肺蘇生法を再開し、AEDを引き続き使用

- 電気ショックが完了すると、「ただちに胸骨圧迫を開始してください」などの音声メッセージが流れるので、これに従って、ただちに胸骨圧迫を再開する。  
胸骨圧迫30回、人工呼吸2回の組み合わせを続ける。
- 心肺蘇生法を再開して2分経ったら、AEDは自動的に心電図の解析を再び行うので、音声メッセージに従って傷病者から手を離し、周りの人も離れる。
- 以後は、〔⑧心電図の解析、⑨電気ショック、⑥心配蘇生法の再開〕の手順を、約2分間おきに繰り返す。  
(AEDが2分おきにメッセージを流すので、従う。)

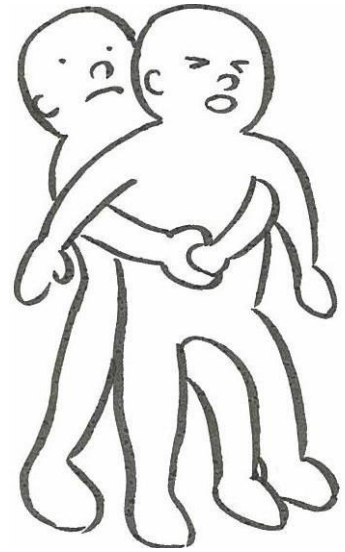


子供の場合は片手でも良いですが、しっかりと5cm以上押しましょう！

# 気道異物除去の方法

## 1 傷病者に反応(意識)がある場合

- 異物(食物など)が口の中や喉などに詰まっている状態(気道閉塞)が強く疑われる場合、「のどが詰まったの?」と尋ね、声が出せず、うなずくようであれば窒息と判断し、ただちに行動する。
- 119番通報するよう誰かに頼むとともに、ただちに以下の方法で異物の除去を試みる。
- 咳をすることが可能であれば、咳をできるだけ続けさせる。咳ができれば、異物の除去にもっとも効果的である。



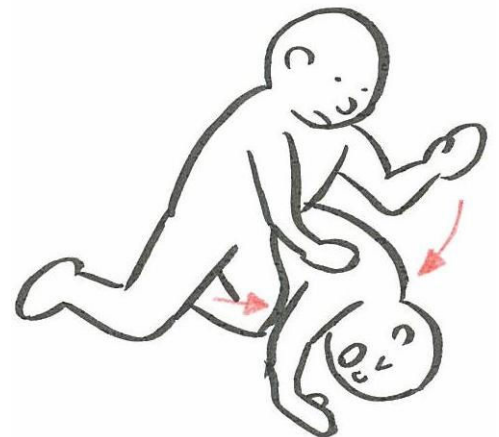
ハイムリック法  
(連続して数回実施しましょう)

### 1 腹部突き上げ法 (ハイムリック法)

- 腕を後ろから抱えるように回す。
- 片手で握りこぶしを作り、その親指側を傷病者のへそより上でみぞおちの十分下方に当てる。
- その上をもう一方の手で握り、すばやく手前上方に向かって圧迫するように突き上げる。
- ※ 妊婦や乳児に対して腹部突き上げ法を行ってはいけません。

### 2 背部叩打法

- ひざまずいて、傷病者を自分の方に横向きにする。
- 手の付け根で肩甲骨の間を力強く何度も連続してたたく。
- 上記のほか、座った状態や立った状態での方法もある。
- ※ 腹部突き上げ法と背部叩打法のどちらか一方を行っても効果のない場合は、もう一方を試みる。



はいぶこうだほう  
背部叩打法  
(連続して数回実施しましょう)

## 2 傷病者の反応(意識)がない場合

- 反応がない場合、あるいは最初は反応があつて応急手当を行っている途中でぐったりして反応がなくなった場合には、ただちに通常の心肺蘇生法の手順を開始する。
- 心肺蘇生法を行っている途中で、口の中に異物が見えたならば、異物を取り除く。
- 口の中に異物が見えないならば、異物を探すのに時間を費やさずに、胸骨圧迫30回と人工呼吸2回を繰り返す。



反応が無くなったら、  
ただちに心肺蘇生法!